

## 顛末書

名 称	中野市豊田地域小学校統合準備委員会 第9回通学・安全部会
日 時	令和元年7月30日(火) 午後6時30分～午後7時57分
会 場	豊田公民館 会議室
出席者	出席委員 6名 池田幹夫、神田茂貞、西野彩絵、北原勉、中島秀子、大山美香  事務局職員等 宮嶋学校教育課長、阿藤学校教育課長補佐兼総務係長、清野指導主事、宮崎主査
次 第	1 開 会 2 あいさつ(池田委員) 3 会議事項 ・通学方法について 4 その他 5 閉 会
主な質問・意見等	<p>【通学方法関係】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 裕区児童について、距離的には徒歩通学だが、通学路の大部分が民家も無ければ人通りも無く人目につかないことから、一人だけで徒歩による登下校となると心配であるため、バス通学が良いのでは。獣に遭遇することも想定され、人や車がほとんど通らないところを小学生の児童が一人で登下校することについて心配である。また、統合時は6年生であり1年間だけのことなので、現在の通学方法同様にバス通学でも良いと思う。</li> <li>● 穴田区児童について、距離的にも毛野川橋を境に通学方法を分けることは問題無いと思う。</li> <li>● 穴田公民館付近の児童について、冬場の道路事情等も考慮し、冬場だけバス通学でも良いのでは。また、冬場は時間的なことを考えると、近くにバス停を設けた方が良いと思う。</li> <li>● 穴田区児童のバス通学とした場合のバス停については、地区内に徒歩通学となる児童もいるので、バス停の位置は配慮した方が良いと思う。</li> <li>● 城下団地の児童について、距離的な面などみても夏場は徒歩通学で大丈夫だと思うが、冬場は除雪の関係で道路の路肩に雪が溜まってしまい、交通量の多い道路の車道を歩くこととなり危険と思われるので、冬場だけはバス通学が良いのでは。</li> </ul>
今回のまとめと次回検討事項	● 各行政区の通学方法及びバス停の位置についてまとめた。